

高森町議会だより 12

PARLIAMENTARY INFORMATION

令和3年11月発行
No.83
9月定例会



9月定例会	2
町政を問う(一般質問)	6
常任委員会報告	7
第4回臨時会	10
町民の声	11

ペーパーレス化へ向けて いよいよタブレット議会がスタートしました。

新議長あいさつ



高森町議会議長
佐伯 金也

この度、7月14日の臨時議会で議長に就任しました10番、佐伯金也でございます。本町議会議員活動22年目にして、突然でございますが議長という大役を任せられ、改めて身の引き締まる思いであります。

今までは、10番議員として議席から執行部に対して住民の皆様の思いを質問、意見として述べてまいりましたが、今後は議長という重責の下、円滑な議会運営を図って行かなければなりません。議長は様々な権限がありますが、一議員であることには間違いありません。他の議員各位と同じ高さで権限を行使して行きたいと思います。議会を代表するために公正指導の原則に沿い、公平、無私、中立的立場で適宜適切な措置をとり、討論を重ねて、最も妥当な結論を得るように努めてまいります。

残す任期もあと1年半でございますが、皆様のご指導、ご助言をよろしくお願い致します。

令和3年 第3回9月定例会

(令和3年9月10日開会)

人事案件

同意 第4号



高森町教育委員会委員
野尻 次典氏

**高森町
教育委員会委員に
野尻 次典氏が
再任されました。**

任期 令和3年10月1日～令和5年9月30日

一般会計補正予算(第6号)

9億286万6千円を追加

予算総額 68億2,390万9千円

国・県補助活用事業

南阿蘇鉄道新型コロナウイルス対策支援事業補助金

新型コロナウイルス感染症で、経営に大きな影響を受けている南阿蘇鉄道に対して、3密を避けるための環境整備とともに、更なる利便性の向上のためJR豊肥線との接続強化に係る経費を補助する。

事業費	補助額	一般財源
6,200万円	6,200万円	0円



ラッピング列車とトロッコ列車

介護予防拠点整備事業

熊本県介護基盤緊急整備特別対策事業を活用し、「介護予防拠点」として公民館トイレのバリアフリー化等を継続して実施する。

事業費	補助額	一般財源
8,311万円	8,311万円	0円

【介護予防拠点の条件】

- 最低、週1回の介護予防に係る活動を継続して実施すること。
- 公民館、集会所等で、過去に当該事業の補助を受けていないこと。



洗川公民館

ふるさと納税活用事業

くまもと国際マンガCAMP in 阿蘇高森実行委員会補助金

エンターテインメント業界と連携し、海外クリエイター招致に向けた地域情報の発信を継続して実施する。

【事業内容】

- 熊本国際漫画祭作品を住民へお披露目
- YouTubeやSNSでの世界発信
- O96k熊本歌劇団の無料公演
(町民体育館で開催予定、高森町民限定)

事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
400万円	400万円	0円



O96k熊本歌劇団



くまもと国際マンガCAMP

高森町×O96k絆プロジェクト

O96k熊本歌劇団の認知度向上と地域おこし活動の支援を目的として、各種グッズやPR用の服飾等を製作する。

取組内容	金額
2022カレンダー	910,000円
折りたたみクッション	2,510,000円
のぼり旗・ポール	270,000円
オリジナル法被	750,000円
PR用ジャンパー、ポロシャツ	4,560,000円
等身大パネル	1,000,000円

事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
1,000万円	1,000万円	0円



※イメージです

令和3年9月定例会 主な質疑応答

認定第1号

令和2年度高森町各会計歳入歳出決算の認定について

質

〔後藤巖議員〕

町民税も固定資産税も徴収猶予分を除けば徴収率は伸びている。コロナ禍で、徴収率を改善させるためどのような方策を取ったのか。

答

〔税務課長〕

新たな滞納者を出さないため現年度の徴収強化。コロナ禍のため文書、電話等による催告に取り組んでいる。

また、徴収猶予なども町民に向けて情報提供を実施している。

議案第50号

令和3年度高森町一般会計補正予算について

質

〔牛嶋津世志議員〕

今年の成人式を開催出来なかった見舞金として一律5万円を支給するとあるが、この根拠を伺いたい。

答

〔教育長〕

見舞金については、あくまでも当日参加された方の交通費等の負担を町から捻出するものであり、新成人すべてに支給する訳ではない。



高森町成人式の風景

質

〔後藤巖議員〕

歳入で、ふるさと納税補正が6億円計上されている。
令和2年度の例でいくと最終的には33億円程になるが、このままの推移で実施できるか尋ねる。

答

〔政策推進課長〕

委託業者のすばらしいプロモーションにより売上も伸びている。今のところクレームもなくやっているため、委託業者とふるさと納税事業に取り組んでいく。



返礼品の一例



菅井 育美

高森町観光大使(2016年)

谷口 亜湖

高森町観光大使(2016年)

道路アクセスの対応

町道大戸の口・本河原線の改良は

町 長

地元議員を中心に、地域住民の総意が必要



質問 町長は、平成23年4月に就任され、

前任の藤本町長時代に始まった同町道の改良事業を継承され、現在の道路状況となる工事を平成26年に完了されておられます。残りの1.8kmの今後については、「これまでの改良工事は、国からの道路整備交付金という補助金が使われ、この交付金は現在終了している。他の交付金事業を検討してもかなり厳しい。本来に地元の同意、本当の用地確約をいただいた上で、町単独事業で本気でやるとすれば、残り区間、約5億円かかります。」と答弁され、これを受け、地元議員と地域住民は、平成29年12月19日に要望書と用地提供の確約を提出されたが、現在まで改良工事がされていない。工事がされなかった経緯と今後について伺う。



町道大戸の口・本河原線

町 長 提出された要望内容ですが、地元議員に聞きますと、二転三転他の提案を言われる方もおいで

で、トータルな意見を聞かなければならず、現在まで工事を行っていない。今後については、地元議員さんを中心とした地元の総意をいただき、常任委員会でも纏めていただき、その意見をしっかりと執行部としてやっていきたい。

後藤 三治 議員

2人の熱弁

後藤 巖 議員

コロナ禍における各産業への支援体制

高森町独自の方法で支援する必要がある

町 長

事業所継続支援事業補助金の必要性を感じている



質問 近年の補助金申請は電子申請が多く

なってきたおり、今後どの様にサポートをしていくのか。

町 長 昨年、農林政策課と連携し電子申請が困難な事業者に対し53件の申請サポートを行った。今後は商工会と連携してバックアップの継続を行っていく。

質問 就農者の高齢化が進んできているが、

地域おこし協力隊導入を含め支援体制はどのように考えているか。

町 長 農業機械の運転が厳しくなり離農に追い込まれている現状がある。農業ヘルパー制度を強化するため、地域おこし協力隊の募集を開始している。お互いのニーズを考えると、農業における地域おこし協力隊の活用は魅力あるものだと考えている。

質問 高森町の将来を考えて、事業者や起業者にあたり前向きな財政出動をしていく必要があると考えるがその方向性は。

町 長

まん延防止措置などの売上が落ち込んでいることは理解しており、昨年同様のスキームで支援一時金などの必要性を感じている。コロナ対策として支援していきたい。地域の魅力が若者の集まり学ぶ場所となり、就農や就職に繋がる可能性の拡大を目指すためにも、ICTやエンタメ等のソフト事業が必要だと考える。阿蘇高森という環境にマッチした、歴史・文化を維持しながら若い世代に可能性を広げていく企業を応援していく。県立高森高校のマンガ学科設置は大いに注目していただきたい。

総務文教常任委員会報告

☆閉会中の継続調査

8月27日に常任委員会を開催し、地域おこし協力隊の活動報告を受けた。8月1日時点において53名の隊員が各方面で活動をされており、当日は13名の隊員の報告があり、委員5名との意見交換も併せて行った。

政策推進課関係では、観光推進、空き家対策、歴史探索など多方面に渡る活動について報告を受けた。たかもりポイントチャンネル事務局関係では、多くの町民の方々に視聴していただくため、番組づくり工夫を凝らしている旨の説明があった。教育委員会関係では、高SP

Oを中心に町民総スポーツ社会の充実のため、各種競技団体、プロ等との連携を含め活動をさらに広げていきたいと報告を受けた。



各方面で
活動されている

高森町地域おこし協力隊の
皆さんです

支援員など地元住民を活用してほしい、活動が多くに住民に伝わるよう周知方法を工夫してほしいなどの意見があり、隊員からは地域の人材を紹介してほしい、住民参加型の活動を広げたいなど多くの意見要望があった。

今回の活動報告で、地域おこし協力隊の皆さんの熱意が伝わり、隊員の皆さんがこれまでの経験や多様な価値観を存分に発揮していけるよう、総務文教常任委員会としても全面的なサポート協力を推進していきたい。

産業厚生常任委員会報告

☆閉会中の継続調査

8月18日、産業厚生常任委員会を開催し、現地確認調査、及び所管各課から説明を受けたのちに質疑を行った。

現地確認は高森町共同畜舎の現状を担当課より説明を受け調査をした。畜舎3棟・堆肥舎、揚配水施設、備品類の活用状況、修繕が必要な箇所の確認を行った。特に屋根が経年劣化で損傷しており譲渡する前に修理する必要があることを確認した。またサイロは使われておらず今後は使用するか、使用しない場合は売却の検討、揚配水施設用地の管理の必要性が話し合われた。



高森町共同畜舎内

その後、洗川公民館と上在公民館の視察をした。改装の箇所の確

認、黒板などに記入されている活動状況を見回った。地域と工務店の打ち合わせを密とした施設づくりと活用

方法には注意を払う必要があると感じた。

調査後、

議場にて高森町共同畜舎譲渡の件と高森町無電柱化推進計画について農林政策課と建設課より説明を受けた。

高森町共同畜舎譲渡は、譲渡先が規則に縛られない活用が見込まれることに期待する意見が出された。

高森町無電柱化推進計画は熊本県が県道（高森停車場線）を無電柱化する計画があり、推進計画に基づき県道周辺町道を2021年～2025年にかけて無電柱化実施予定である。

この2つの件については、譲渡は財産処分、無電柱化は町づくりに関連しているので、全員協議会の場での説明を執行部に求めた。



上在公民館「行動予定表」

総務文教常任委員会報告

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「令和2年度高森町各会計歳入歳出決算の認定」「高森町過疎地域持続的発展計画」「令和3年度高森町一般会計補正予算」について、担当者から詳細に説明を受け審議した。

◎令和2年度高森町各会計歳入歳出決算の認定について

関係各課から歳入歳出決算の内容、及び主な施策の成果について説明を求めるとともに審議にあたっては、税や料の収納状況、収入未済額の発生理由、また不能欠損額の処理は適正に行われたのか、予算の流用や予備費の充用は適切なものか、多額の不用額が生じた原因や理由等について詳細に審議した結果適切なものと認定した。

◎高森町過疎地域持続的発展計画について

将来にわたり「活力ある地域社会」の実現と「加速的に進行する人口減少」への対応を図るため地

域の持続発展につながる取り組みについて令和3年度から7年度までの計画を定めたものであり、効果的な事業の推進が図られるよう期待し可と決した。

◎令和3年度高森町一般会計補正予算について

担当者から詳細に説明を受け、審議した結果可と決した。

【主な質疑事項】

【質】 企業版ふるさと納税の企業へのPR状況について伺う。

【答】 募集サイトに南阿蘇鉄道再開発事業、ICT教育プロジェクトを掲載し一般募集をしている。特定企業へは、内閣府やコンサルティング企業が定期的に主宰するマッチング会に参加し、町のプロジェクトをPRしている。これから企業が決算時期となるので積極的にPRしていく。

【質】 協力隊員が作成した漫画のイラストはダウンロードし使用することは可能か。また著作権についても伺う。

【答】 個人漫画家の作品でありコア

ミックスとも協議したい。著作権については、地域協力隊員のイラストであり権利は町にあるが事業に利用する場合には、何らかの対応が必要になると思われる。



【質】 O96k歌劇団の公演が町民体育館で開催予定であるが今後、コアミックスはO96kの公演場所として町民体育館を利用される考えがあるのか。

【答】 今回の公演は、当初高森、色見、草部、野尻の4力所で開催予定であったがコアミックスと協議の結果、町民体育館での開催となっ

た。将来、町民体育館で開催の意図があるものではない。



町民体育館

【質】 高森町事業所継続支援事業について、町内飲食店以外も補助対象にすることに担当者として考えを伺う。

【答】 当事業は、昨年度実施したこともあり、飲食店以外に対する補助も検討したい。

【質】 営業時間短縮要請協力金について伺う。

【答】 前年もしくは、前々年の売り上げ状況で変わるが1日2万5千円から7万5千円である。協力金に限らず持続化給付金や町単独の補助金については事業収入となる。

産業厚生常任委員会報告

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「令和2年度高森町各会計歳入歳出決算の認定」「高森町過疎地域持続的発展計画」「令和3年度高森町一般会計補正予算」「令和3年度各特別会計補正予算」3件について、担当者より説明を受け審議した結果、認定1件、議案5件のすべての議案を可とした。

【主な質疑事項】

◎令和2年度高森町各会計歳入歳出決算について
主に不用額が100万円以上計上されている項目につき質疑を行った。特に予算流用など不審な点もなく、今後も予算が判明した後に補正にて落とす事を心掛ける様に指摘した。

◎高森町過疎地域持続的発展計画について
令和3年4月1日より過疎地域の持続的発展支援に関する特別措置法が施行されており、過疎対策事業債の活用など過疎地域の自立に向けて持続的発展を実現するよう策定したもの。

◎令和3年度高森町一般会計補正予算について

質 熊本型放牧高度化支援事業について。

答 牧野組合等が所在する自治体を実施主体とし、放牧に対する条件整備等の補助を行うもの。放牧頭数や牧野面積を基準に予算を策定し、事業費は国と県、組合等が負担する。補助対象は9組合を予定している。耕作放棄地の活用や牧野の整備が進み、安心・安全な飼育環境が構築されると説明を受けた。



中原牧野のあか牛

質 介護予防拠点整備事業について。

答 介護予防拠点として地区の公民館を「通いの場」に適した施設にする。玄関やトイレのバリアフリー化を行い、最低週1回の介護予防に係る活動を実施する。実施にあたり、地区の民生委員と集落支援員の連携を更に推進するよう意見が出た。



洗川公民館「通いの場」

質 介護保険料の見直しについて。
答 現在の基金を保険料に反映させ下げることは可能であるが、数年後の年齢比率を考慮すると予

断は許さない状況であり、9期計画時に検討すると報告を受けた。

質 町道草刈作業委託料について。

答 地域住民の高齢化や交通量の多い町道で草刈ができなくなり、業者へ業務委託の予算計上した。他の部署が持つ機材を貸出し、有効に活用することで住民負担を軽減する提案や、年1度でなく複数回の道路草刈作業に補助金を支給し、地域の「コミュニティ」を高めていくことなど意見が出された。



道路草刈作業（道路愛護事業）

令和3年 第4回臨時議会

(令和3年7月14日開会)

令和3年度一般会計補正予算(第5号)

3億4,751万6千円を追加

総額予算 59億2,104万3千円

国・県補助活用事業

草部郷土資料・クラフト体験館整備事業

草部地域の魅力である歴史や地域資源を活用した「民族郷土資料館及びクラフト体験スペース」を整備します。

今回、地域に新たな拠点施設を整備することで、更なる都市部との交流を促進し、新たな関係人口を創出することで草部地区の地域活性化を推進する。

事業費	補助額	地元負担	ふるさと応援寄附金
2,627万円	1,302万円	1,000万円	325万円

国の「地方創生拠点整備交付金」を活用予定（補助率1/2）



資料館建設予定地

高森町議会議員がケアトランポリンを体験！

9月13日、高森町総合センター大会議室において高森町議会議員5名がケアトランポリンを体験しました。

注) ケアトランポリンとは：転倒防止用の手すりが付いた高齢者や障がい者にやさしいリハビリ用器具です。

■ 目的

- ・高齢者の脳に刺激を与え、衰えてきている脳の機能を回復させる。
- ・高齢者の衰えてきている足腰を、無理なく回復させる。

■ 効果

- ・足腰の筋力アップ
- ・転倒防止や寝たきり防止
- ・気持ちが元気になる
- ・地域コミュニティの活性化
- ・医療費の削減



・無理のない運動による機能回復効果

※町では現在、ケアトランポリン導入に向けて準備を進めています。

町民の声



山村 一夫さん
(上色見・前原)

私は、10年前に上色見前原に移住して来ました。父は、蘇陽の菅尾出身で今は墓だけが残っており両親もそこに眠っています。

幼いころより父に連れられてよく墓参りに来ました。

高森の町から眺めた根子岳の荒々しい山容には感動すら覚えたものです。

最初は阿蘇フォークスクールの工房を借りて陶芸を始めました。その後、理事から紹介され現在の地に登り窯と工房を作りました。

その際には、フォークスクールの関係者や地元の方々には大変お世話になりました。今は、フォークスクールのお手伝いをさせてもらっていますが、老朽化した校舎を維持して行くのは大変です。

余談ですが、私の誕生日と上色見小学校の竣工日が同じです。

現在70歳ですが、お互いにガタガタになって来ました。学校というのは、楽しいことや嫌なことなどの思い出が一杯詰まった場所です。廊下を走り回って先生にバケツを持って立たされたこと。掃除をさぼって女子に睨まれたこと。運動会でおっさんが酔っ払って走ってひっくり返ったこと。やはり、友達と遊んだことが一番の楽しい思い出ではないでしょうか。かつて遊び学んだ場所が今もそこにあるというのは素晴らしいことです。これからも、70年前の姿を維持するべく尽力したいと思っています。

ぜひ、廊下を走り回りにおいでください。バケツを用意してお待ちしています。

私が鶴林家に嫁いで来たのは昭和46年1月でした。家の事情で就職が出来ず実母は、私が19歳の時に54歳で亡くなり、また、翌年には主人の父が亡くなり不幸続きでしたが、義父が亡くなって4カ月後に人命救助していただきました。結婚することが決まってから約10カ月程間がありましたがお互いに親を亡くし嬉しいはずの結婚も複雑な思いでした。

そんな中、私を待っててくれたのはもの静かな優しい義母と4人の義妹でした。大変救われました。また、一男三女に恵まれ15歳から26歳迄の孫9人の成長を楽しんでいる処です。苦労も沢山ありましたが、今が幸福です。苦労話は全部良い思い出に変えました。

さて、50年前を振り返って見ますと我家には、今のように機械化されておらず牛が代役していました。当時は、成牛が4頭、畑が300a程でそれでは足りず120aの荒野を求め畑にしました。現在は、成牛が16頭キャベツ350a牧草専用の畑が550aを2人で頑張っています。また、尾下地区は80歳を遙に過ぎて畜産に精を出されている方が2名居られます。凄いことだと思いながら先輩の背中を見て追って頑張っている処です。

今年の金婚式では大変立派な表彰状をいただきましたが、それもひとえにこれまで私たちを支えてくださった地域の方、親戚、友人など沢山の方と共にいただいた大変重い表彰状だと思って居ります。この度は、本当に有難うございました。



鶴林 かず子さん
(尾下・大畑)

～マンガを活用した高森高校の 魅力向上に関する連携協定調印式～

9月8日



令和3年9月8日（水）熊本県庁審議室において『県立高森高等学校×株式会社コアミックス×高森町×熊本県教育委員会』の4者が相互連携・協力し、高森高校におけるマンガを活用した取り組みを行うことで、高森高校の魅力向上を図るとともに、マンガに係る人材育成を通して町の掲げるエンターテインメント業界と、連携した町づくりに資することを目的とした調印式が執り行われました。



主な事業連携

県立 高森高等学校	- 生徒数増加による学校の活性化 - マンガに係る人材の育成 - 町と連携した取り組み
高 森 町	- 町を挙げての教育支援 - PR活動 - 事業連携（国際マンガCAMP等） - 小・中・高一貫教育のさらなる推進
株式会社 コアミックス	- カリキュラム作成に係る助言 - 機器・設備等の助言 - 講師の派遣 - 卒業後の進路 - アーティストビレッジ「阿蘇096区」の使用
熊本県 教育委員会	- 学科等の設置 - 施設等の整備

編集後記

毎朝ラジオを聴いていると、8時の告知で「今日も3分の1が終わりました！…。」コロナ禍に猛暑、オリンピック開催と激動の2021年もあと2カ月を残すばかり。年々感じる月日の流れの速さに戸惑いながらも、『一日一日を大切に過ごしていかなば！』と内省する秋冷の朝です。

広報委員 津留 智幸

議会広報特別委員会

議 長 佐伯 金也（発行責任者）

委 員 長 牛嶋津世志 委 員 津留 智幸

副委員長 後藤 清治 委 員 後藤 巖

